

2020年度 第2回 鹿児島大学臨床研究審査委員会 議事要旨

開催日時	2020年5月11日(月) 14:20~14:40						
開催場所	オンラインのwebテレビ会議						
出席委員 ※下線は外部委員	<p>1号委員：井戸 章雄(鹿児島大学学術研究院医歯学医学系 教授)【委員長】 : 中村 典史(鹿児島大学学術研究院医歯学域歯学系 教授)【副委員長】 : 井上 博雅(鹿児島大学学術研究院医歯学医学系 教授) : 堀内 正久(鹿児島大学学術研究院医歯学医学系 教授) : 武田 泰生(鹿児島大学学術研究院医歯学域鹿児島大学病院 教授) : 南 留美子(鹿児島市立病院 薬剤師)</p> <p>2号委員：<u>米田 圭吾(出水法律事務所 所長・弁護士)</u> : <u>黒木 健太(鹿児島県弁護士会 弁護士)</u></p> <p>3号委員：<u>石窪 奈穂美(消費生活アドバイザー)</u> : <u>有山 貴史(株式会社 南日本放送 取締役)</u> : <u>河野 総史(志学館大学法学部 准教授)</u> : <u>三好 綾(NPO 法人がんサポートかごしま 理事長)</u></p> <p>※委員の構成要件の該当性については、以下の要件により番号で記載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1号委員</td> <td>医学又は医療の専門家</td> </tr> <tr> <td>2号委員</td> <td>臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家</td> </tr> <tr> <td>3号委員</td> <td>上記に掲げる者以外の一般の立場の者</td> </tr> </table>	1号委員	医学又は医療の専門家	2号委員	臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	3号委員	上記に掲げる者以外の一般の立場の者
1号委員	医学又は医療の専門家						
2号委員	臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家						
3号委員	上記に掲げる者以外の一般の立場の者						
陪席者	臨床研究管理センター： 榑特任助教、右藤臨床研究コーディネーター、玉利特任専門員、松岡特任専門員 総務課：前村企画・広報係長						

■書類審査 3件

1.定期報告	
整理番号	18-K38
研究課題名	HAM患者を対象としたL-アルギニンの有効性を検討する複数回(7日間連続)投与試験
研究代表(責任)医師	脳・神経センター 脳神経内科 教授 高嶋 博
実施医療機関名称	鹿児島大学病院
技術専門員	—

氏名	
実施計画の 事務局受理日	—
実施計画の厚生 労働大臣提出日	—
備考	—
審査結果	承認
議論の内容	
本研究の定期報告に関して、モニタリング報告書に関する確認等があった。指示事項等は特になく承認された。	

2.定期報告	
整理番号	18-K40
研究課題名	腹腔鏡下大腸切除術でのインドシアニングリーン (ICG) を使用したナビゲーションサージャリーの検討
研究代表(責任) 医師	消化器センター 消化器外科 教授 夏越 祥次
実施医療機関 名称	鹿児島大学病院
技術専門員 氏名	—
実施計画の 事務局受理日	—
実施計画の厚生 労働大臣提出日	—
備考	臨床研究の実施に重大な影響を与えないものであって、かつ、委員会の指示に従って軽微な対応をするものであり、委員長及び副委員長により簡便な審査を行う。
審査結果	継続審査
議論の内容	
本研究の定期報告に関して、委員より定期報告書について指摘・確認事項を含む意見が述べられたことから、継続審査となった。	

3.定期報告	
整理番号	18-K42

研究課題名	妊孕性温存を希望する子宮頸癌患者へのロボット支援子宮頸部摘出術における日本人女性に適した手術方法の確立
研究代表(責任)医師	女性診療センター 産科、婦人科 教授 小林 裕明
実施医療機関名称	鹿児島大学病院
技術専門員氏名	—
実施計画の事務局受理日	—
実施計画の厚生労働大臣提出日	—
備考	—
審査結果	承認
議論の内容	
本研究の定期報告に関して、指摘・確認事項の意見等はなく承認された。	

【確認事項】

委員長から下記事項についての確認がなされ了承された。

○2020年度 第1回 鹿児島大学臨床研究審査委員会 議事要旨

次回、2020年6月1日(月) オンラインのweb テレビ会議で執り行うことを検討することとなった後に、閉会となった。